

基本政策部会の進め方について（案）

0. 背景

- 約50年ぶりの大きな制度変更（民営化、一般財源化）
⇒7/7 道路分科会として検討する事を決定（基本政策部会で議論）

1. 分析・評価の視点の提示（7/14 基本政策部会）

- 一般財源化による制度的呪縛からの解放を前向きにとらえる。
⇒新しいパラダイムの構築
 - ①説明責任の果たし方を変えるべき。
 - ②地域政策、産業政策など関連政策との連携など、幅広い視野と総合的な視点で、効率よく社会の課題解決に貢献すべき。

2. 家田委員からの分析・評価の素案の提示

8/25
基本政策部会

- 今後の基本政策部会における議論のキックオフとして家田委員を中心に「これまでの道路行政についての分析・評価」（素案）を作成。
- これを足がかりに、今後、分析をさらに進め、本質的な問題についての議論を深める。
- 併せて、有識者や国民の意見を聞きながら、検討を進めていく。

(今後の予定)

3. 内容の具体的検討

- 個別テーマ毎の具体的検討
⇒基本政策部会を月1回程度開催

外部との
コミュニケーション
有識者や国民
からの意見聴取

4. 建議として取りまとめ（概ね1年後を目途）